

イヴレス(7125)

高級感のあるオリジナルのアメニティ・備品の調達力と
企画力を武器に、ホテル運営を支援する事業を拡大へ
TOKYO PRO Market | ホテル向け客室備品提供 | 会社紹介

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 7125:JP | REUTERS 7125.T

- 同社が展開する「ホテル客室備品事業」における調達力と企画力を強みとして「ホテル開業支援事業」と「ホテル受託運営事業」も展開。
- 受託運営するホテルは超富裕層向けの高級かつ小規模なホテルであり、コロナ禍の厳しい環境下でも稼働率への影響は限定的だった。
- コロナ禍の厳しい環境下、ポステイル事業の開始や公式Eコマースサイト開設など、ホテル運営支援に関する新たな事業を展開している。

What is the news?

同社事業は、中国や日本の製造委託先との長年の取引実績を基にした安定調達力、および高い商品企画力を強みとして、「心満たされる非日常空間の提供」をビジョンとした高級感のあるオリジナルデザインのアメニティ・消耗品・備品を企画して宿泊施設に提案・販売する「ホテル客室備品事業」を基盤としている。その基盤の下、顧客目線で調達代行(PA)業務を行う「ホテル開業支援事業」のほか、開業時だけでなく不動産デベロッパーや物件オーナーから宿泊施設運営を受託して持続的・安定的なストック収益とする「ホテル受託運営事業」を展開している。

同社の受託運営ホテルは、現在、静岡県熱海市と伊東市、沖縄県国頭郡の3件である。いずれも超富裕層をターゲットとした高級かつ小規模ホテルであることから、新型コロナ禍による稼働率への影響は限定的だった。また、同社は高級感のあるアメニティ・備品にターゲットを絞ることにより、結果的に、競争の激しいビジネスホテル業界の中で他社との差別化を目指す大規模ホテルチェーンからも受注を拡大させている。

How do we view this?

2020/10通期は、売上高が前期比7.2%増の10.36億円、営業利益が同13.7倍の31百万円、経常利益が同18.5倍の43百万円。コロナ禍の影響を受けたホテル稼働率低下の影響によりホテル客室備品事業は減収だったが、政府の「Go To トラベル」キャンペーンによる旅行需要の喚起を背景として、ホテル開業支援事業における調達代行のPA業務獲得、およびホテル受託運営事業における運営施設の増加が増収増益に貢献した。セグメント別売上高は、①ホテル客室備品事業が前期比12.9%減の6.05億円、②ホテル開業支援事業が同25.4%増の1.58億円、③ホテル受託運営事業が同87.7%増の2.72億円。セグメント利益は全事業黒字化を達成した。

2021/10通期会社計画は、売上高が前期比6.5%増の11.04億円、営業利益が同83.9%減の5百万円、経常利益が同84.5%減の6百万円。昨年4月に新規に運営を受託したホテルが年間を通して稼働することなどにより増収を見込むが、上場関連費用の一時的要因による減益を想定している。

コロナ禍の影響で宿泊需要が低迷するなか、同社はホテル運営に関する様々なニーズに対し、2020年8月に広告宣伝コンサルティングとインフルエンサー・マーケティング関連のポステイル事業の開始、11月に公式Eコマースサイト開設など、運営支援の新たな事業を展開している。

業績推移

事業年度	2019/10	2020/10	2021/10F
売上高(百万円)	966	1,036	1,104
経常利益(百万円)	2	43	6
当期利益(百万円)	-3	2	10
EPS(円)	-6.42	5.05	18.94
PER(倍)	-	475.25	126.72
BPS(円)	132.27	137.32	-
PBR(倍)	18.14	17.48	-
配当(円)	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 2,400 2021/7/28(基準値)

会社概要

1990年に代表取締役社長の山川景子氏が、大阪市に前身となる書籍出版会社を設立。1998年にイヴレスに商号変更し、オリジナルデザインのホテルアメニティおよび備品の企画販売を開始した。

その後、2017年に調達代行のPA(Purchasing Agent)業務を開始した後、2018年に100%出資の連結子会社イヴレスホスピタリティを設立し、ホテル受託運営事業を開始。更に、2020年には広告宣伝コンサルティングおよびインフルエンサーマーケティング関連事業のポステイルサービスに続き、イヴレス公式ショッピングサイトを開設した。2021年7月28日にTOKYO PRO Marketへの新規上場を果たした。

主な事業は、ホテル客室備品事業、ホテル開業支援事業、およびホテル受託運営事業である。

①ホテル客室備品事業は、オリジナルデザインのアメニティ、消耗品および備品を企画し、宿泊施設に提案・販売する事業である。開業時にそれらを宿泊施設に納入し、開業後には継続してアメニティと消耗品を納入する。

②ホテル開業支援事業は、PA業務を主な事業とする。オリジナルデザインに限らず、開業時に必要な家具および備品等の一括調達・コンサルティングを実施するほか、同時に開業コンサルティングを提供する場合もある。

③ホテル受託運営事業は、不動産デベロッパーや物件オーナーからリゾートホテル等の宿泊施設の運営を受託し、運営利益の一部を同社の収益としている。現時点の運営ホテルは、UMITO VOYAGE ATAMI(静岡県熱海市)、UMITO The Salon IZU(静岡県伊東市)、UMITO PLAGUE The ATTA Okinawa(沖縄県国頭郡)の3件である。

企業データ

主要株主(2021/6/25) (%)

1.アヴィ株式会社	71.55
2.山川 景子	18.97
3.浮舟 邦彦	5.17
4.山川 徳久	3.45

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。